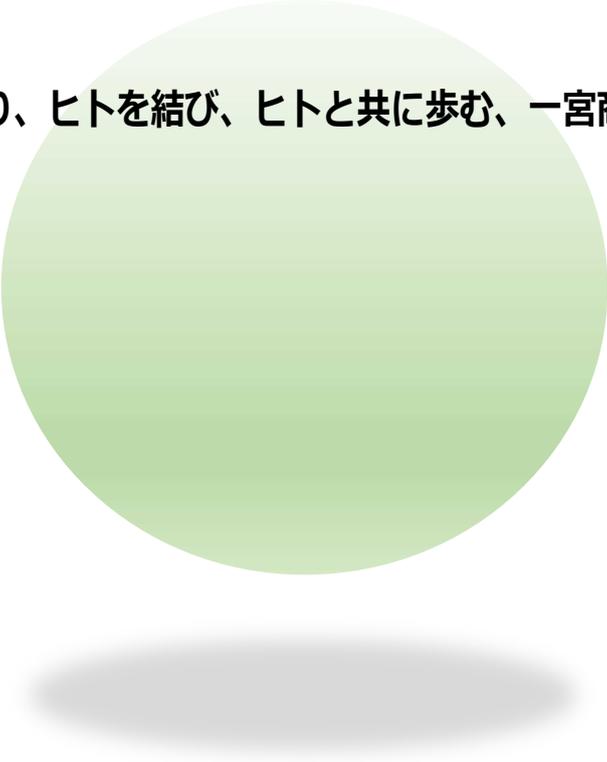


長期行動指針
第3期アクションプラン
2019～2021

ヒトを創り、ヒトを結び、ヒトと共に歩む、一宮商工会議所



一宮商工会議所
Ichinomiya chamber of commerce & industry
2019年3月

はじめに

一宮商工会議所では、2013年3月に「一宮商工会議所長期行動指針」を策定し、「西尾張地域の中核都市に相応しい商工会議所」を目指し、取り組んで参りました。3年毎に内容を見直しながら取り組んできたアクションプランも第2期を終え、長期行動指針の最終期（2019年度～2021年度）にあたる第3期アクションプランを策定し各種事業を展開してまいります。

第3期アクションプランの策定にあたっては、2013年度～2018年度の6年間の事業成果を総括すると共に、今までには想定出来なかった、急激な技術革新を伴う社会変化への対応、地域の中小企業が抱える多種多様な経営課題の解決に向けた支援、少子高齢化を端緒とする地方疲弊化への対策等、商工会議所が担うべき責任と求められる期待を具体的事業に盛り込みました。

私どもは、次世代に繋がる盤石な組織基盤の構築とデジタル化による業務効率化を推し進め更なる事務局機能の強化を図ってまいります。また、地域経済を支える経済団体として、創業支援、生産性向上に伴う様々な経営課題の解決、事業承継問題の対応など、あらゆるシーンで期待に応えられる支援団体として成長を遂げてまいります。更には、地方の疲弊化が懸念される中、行政との連携を通じた地域振興事業への貢献も重要なミッションと位置付けています。

2021年には、創立100周年を迎える一宮商工会議所ですが、次の100年に向けたスタートラインに立つ思いで取り組んで参ります。この3年間を通じた成長にご期待頂くと共に、引き続きのご支援、ご協力を賜ります様、お願い申し上げます。

2019年3月

一宮商工会議所
会頭 豊島半七

目次

はじめに

第1章 基本方針

背景／趣旨／計画期間と運用方針／ポイント／基本方針

第2章 第3期アクションプラン

- 視点 1. 会員に満足・期待され、市民に信頼される商工会議所となる・・・ 4
- 視点 2. 多様で複雑化する中小企業の経営課題解決に応えられる支援機関となる・・・ 7
- 視点 3. 西尾張地域の中核市に相応しい産業拠点を形成する・・・ 12
- 視点 4. 行政との連携・協働による活気と賑わいのあるまちづくりに取り組む・・・ 14
- 視点 5. 地域資源を活用した事業展開による都市のブランディングを図る・・・ 16

第3章 資料編

統計データにみる一宮市の現状／組織並びに財政に見る一宮商工会議所の現状／その他

第1章 基本方針

◆ 背景 ◆

本所では、2013年度より長期行動指針を策定し、第1期（2013年度～2015年度）、第2期（2016年度～2018年度）と3年毎のアクションプランにて事業を展開してきた。6年間の取り組みを総括すると共に、近年の企業を取り巻く環境、社会情勢を鑑みて、第3期アクションプランを策定した。

◆ 趣旨 ◆

当地が抱える様々な課題、商工会議所に求められる期待、6年間で取り組んできた事業の実績を踏まえ、次世代につながる強固な基盤づくり、当地の経済を支える様々な支援事業、地域活性化の核となる振興事業の展開を軸に具体的事業へ反映した。

◆ 計画期間と運用方法 ◆

計画期間は2019年度～2021年度の3年間とし、期間中は定期的に進捗状況を確認し、毎年度末には、PDCAのプロセスで成果を検証する。職員一人一人が問題意識を持ち、課題に取り組み、必要に応じて組織運営体制を柔軟に見直し、会員企業や地域のニーズに対応していく。

◆ ポイント ◆

【掲載事業のスリム化】

第2期に81あった具体的事業については、優先順位をつけ、曖昧な評価基準（目標設定）をできる限り排し、定量的な評価基準を有する事業を掲載することとし、ルーティン化、陳腐化した事業は掲載を見送った。※一部例外は除く

【新規事業の定義】

全く新しい事業に加え、既存事業についても、内容を充実させ高い成果が得られるもの、他の事業と一緒にすることで成果に厚みが出ると期待される事業も新規と位置付けた。

◆ 基本方針 ◆

サブテーマを「ヒトを創り、ヒトを結び、ヒトと共に歩む」とし、社会、地域、企業等の構成要素である「ヒト」にフォーカスし、「人づくり」、「人むすび」、「人との共生」を基本方針として取り纏めた。

第2章 第3期アクションプラン

VISION

視点1 会員に満足・期待され、市民に信頼される商工会議所となる

ACTIONPLAN 1

次世代に向けた組織基盤・事務局機能の強化

本所の顧客とも云える会員の満足度向上を目指し、各種事業に取り組んできた結果、ここ数年の会員数は純増に転じ一定の効果が得られている。今後も更に質の高い会員サービスを提供し続ける必要があり、全社的に取り組んで行く。

SNS を活用した情報発信機能の充実に加え、IT 化の推進による事務局機能の強化は、煩雑な業務を効率化し、ペーパーレス化と共に、飛躍的な機能強化を図る狙いがある。

また、2021 年に一宮商工会議所は創立 100 周年を迎える。100 周年記念事業を遂行すると共に、次の 100 年に向けた盤石な組織基盤の構築が求められる。

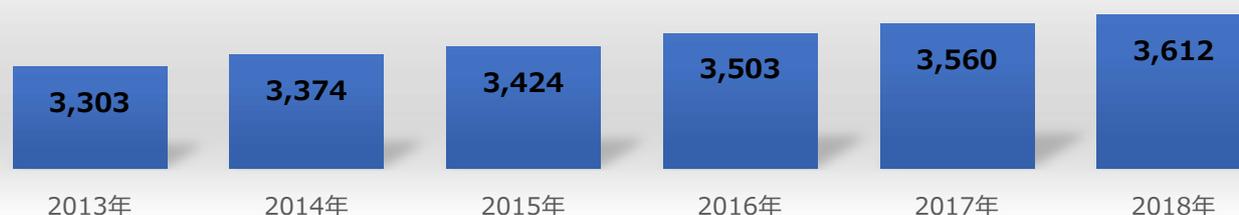


※一宮商工会議所ビル・常議員会・ウェブページ

組織基盤と財政基盤の強化

会員数はここ数年緩やかな純増傾向にあるが、今後も大幅な事業所数の増加が見込まれない中、全社的に会員増強の取り組みを展開していく必要がある。会員サービスの充実を図ると共に、満足度の向上に努める。また、会館機能の更なる活用で、収益性の向上を図る。

会員推移 ※各年度末 会員数



会員サービス事業の強化

具体的事業	2019	2020	2021	所管
健康診断事業の実施 健康診断の仲介・補助	調査検討	500人	750人	中小企業委員会 【総務部】
会員加入の向上 全社的な会員勧奨の取り組み	3,600件	3,650件	3,700件	組織運営委員会 【全部署】

財政基盤の強化

具体的事業	2019	2020	2021	所管
会議所ビルの活用 会議室の土日貸出の実施	調査検討	15件	20件	組織運営委員会 【総務部】

事務局機能の強化

ウェブページとフェイスブックをはじめとした SNS との連動、デジタルサイネージ等を積極的に活用し情報発信機能を強化していく。また、グループウェア、電子化を通じた業務・資源の効率化、健康経営の実践を通じた働き方改革を IT 化の推進とともに実現する。

【ウェブページ閲覧数の推移】

※閲覧数



情報発信機能の強化

具体的事業	2019	2020	2021	所管
ウェブページと SNS の連動 ユーザー数・閲覧数の向上	ユーザー：3,000 閲覧数：130,000	ユーザー：3,200 閲覧数：140,000	ユーザー：3,500 閲覧数：150,000	情報委員会 【企画部】
デジタルサイネージの活用 企業広告枠の設置	5 件	10 件	15 件	情報委員会 【総務部】

IT 化の推進

具体的事業	2019	2020	2021	所管
グループウェアの活用 デスクネットによる情報共有	職員利用率：50% 議員メールアドレス DB 化	職員利用率：100% 議員メール案内 (FAX 併用)	メール・グループウェア による会議案内	情報委員会 【総務部】
電子化による業務・資源の効率化 ペーパーレス化	PT 組織／業務検証	ペーパーレス化： 30%	ペーパーレス化： 50%	情報委員会 【総務部】

働き方改革の推進

具体的事業	2019	2020	2021	所管
健康経営の実践 健康経営優良法人の資格取得など	資格取得 育児介護休業制度の検討	資格運用 育児介護休業制度の実施	資格・制度運用	組織運営委員会 【総務部】

100 周年記念事業

具体的事業	2019	2020	2021	所管
100 周年記念事業の実施 100 周年記念事業	準備委員会の設置	準備委員会の開催 実施事業の検討と決定	100 周年事業の実施	組織運営委員会 【総務部】

VISION

視点 2 多様で複雑化する中小企業の経営課題に応えられる支援機関となる

ACTIONPLAN 2

地元企業の成長段階に応じた総合支援体制の構築と実践

2014年の小規模支援法の成立に伴い、小規模事業者の伴走型支援事業が強化され、小規模事業者の需要を見据えた販路開拓をはじめとした多岐にわたる経営支援に取り組むこととなった。小規模事業者の持続的発展を通じた地域経済の活性化を担う本所では、様々な施策を展開している。昨今では、後継者不足による事業承継問題にもスポットをあて、企業のライフステージに応じた総合支援を標榜する。

また、少子高齢化に端を発する人材確保支援、生産性向上を目的としたIT導入支援、2019年10月に控えた消費税増税についても同様に取り組んで行く。



※創業塾・合同企業説明会・ビジネス会員交流会

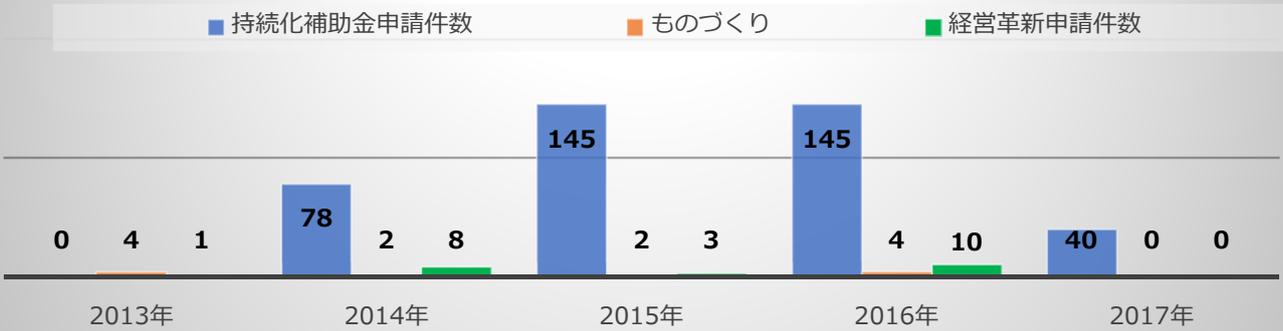
企業のライフステージに応じた総合支援を展開する

創業支援、経営発達支援、事業承継支援など、様々な経営課題に伴走型経営支援を展開する。地域に根差した活力ある事業所の創出、育成、定着を図ると共に、近年、社会問題となっている後継者不足に伴う事業承継まで、地域経済を支える核となる。

創業相談／創業数



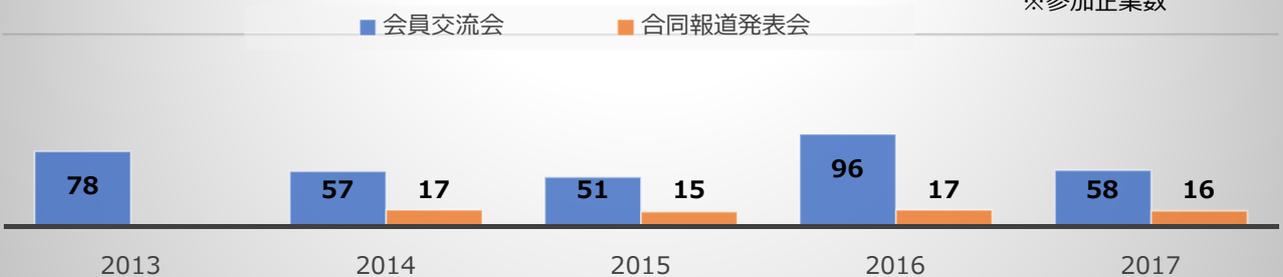
各種補助金の申請支援数



金融支援／財務分析



会員交流会／合同報道発表会



創業支援

具体的事業	2019	2020	2021	所管
総合的な創業支援 継続的な創業支援と創業塾の開講	相談延べ件数：200件 受講者数：20人 創業者数：10人	相談延べ件数：210件 受講者数：23人 創業者数：13人	相談延べ件数：220件 受講者数：25人 創業者数：15人	中小企業委員会 【相談所】

経営発達支援

具体的事業	2019	2020	2021	所管
巡回活動・窓口相談 巡回活動と窓口相談の実施	巡回：2,800件 窓口：1,500件	巡回：2,800件 窓口：1,500件	巡回：2,800件 窓口：1,500件	中小企業委員会 【相談所】
金融支援、財務・経営分析 マル経等の融資制度、財務分析	30件	33件	35件	中小企業委員会 【相談所】
事業計画策定・フォローアップ 事業計画策定・フォローアップ支援	事業計画策定：50件 フォローアップ：10件	事業計画策定：55件 フォローアップ：15件	事業計画策定：60件 フォローアップ：20件	中小企業委員会 【相談所】
販路開拓支援 ビジネス会員交流会の開催	2回：50名	2回：55名	2回：60名	中小企業委員会 【相談所】
各種セミナーの開催 各種セミナー・相談会等の開催	20回：300名	20回：330名	20回：350名	中小企業委員会 【相談所】
各種公的制度申請支援 経営革新・経営力向上・持続化他	申請数：50件	申請数：55件	申請数：60件	中小企業委員会 【相談所】

事業承継支援

具体的事業	2019	2020	2021	所管
事業承継支援 後継者人材バンク	マッチング数：1件 累計登録者数：20人	マッチング数：2件 累計登録者数：25人	マッチング数：3件 累計登録者数：30人	中小企業委員会 【相談所】

人材支援

少子化、生産年齢人口の減少が深刻化する中、人材確保は喫緊の課題となっている。地元中小企業の人材確保を支援するため、合同企業説明会、インターンシップ制度の推進に加え、ウェブサイトによる企業求人情報の発信を充実することにより人材支援を図る。

【合同企業説明会】

赤：来場者／黒：出展企業

※2017より尾張五市での開催



【学校・企業懇談会】参加企業数及び学校数

赤：学校／黒：企業



人材支援

具体的事業	2019	2020	2021	所管
高校企業懇談会の開催 高校企業懇談会・高校での企業展	懇談会：企業 60 社 / 学校 20 校 高校での企業出展：20 社	懇談会：企業 60 社 / 学校 20 校 高校での企業出展：20 社	懇談会：企業 60 社 / 学校 20 校 高校での企業出展：20 社	税制人材委員会 【企画部】
合同企業説明会の開催 尾張五市共催・一宮単独開催	尾張五市 企業 60 社 / 来場 150 人 一宮単独 企業 30 社 / 来場 100 人	尾張五市 企業 60 社 / 来場 150 人 一宮単独 企業 30 社 / 来場 100 人	尾張五市 企業 60 社 / 来場 150 人 一宮単独 企業 30 社 / 来場 100 人	税制人材委員会 【企画部】
インターンシップ事業の展開 インターンシップセミナー	1 回：20 社	1 回：20 社 受入企業：5 社	1 回：20 社 受入企業：5 社	税制人材委員会 【企画部】
新たな求人情報サイトの運営 有料求人サイト Ichi-job の展開	調査研究	掲載企業：50 社 閲覧数：10,000 件	掲載企業：60 社 閲覧数：11,000 件	税制人材委員会 【企画部】

生産性向上支援

慢性的な人材不足が企業の課題となっている一方で、IT化などによる業務効率化を通じた生産性の向上が企業存続の生命線となっている。IT化による生産性向上は、人材不足を補うと共に、良好な就労環境を実現し得る取り組みとして注目されている。

生産性向上支援

具体的事業	2019	2020	2021	所管
IT・クラウドサービス導入支援 IT化による業務効率化	5件	7件	10件	情報委員会 【相談所】

VISION

視点3 西尾張地域の中核市に相応しい産業拠点を形成する

ACTIONPLAN 3

企業誘致のための情報発信と新たなビジネスの創出支援

産業拠点の形成を目的に、企業誘致に向けた行政との連携、新たなビジネスの創出支援に取り組んできた。企業誘致については一宮市と連携し交通インフラの整備要望、進出企業への視察調査などをすすめて行くと共に、企業誘致情報の共有と発信を今まで以上に充実させていく。

新たなビジネスの創出支援として新産業創出研究会、農商工ビジネス研究会を展開する中でテーマ別分科会が派生、今後は分科会のアウトプットに向けての運営に注力していく。また、セミナー等による技術シーズ、研究シーズの情報提供についても並行して取り組んで行く。



※要望活動（名岐道路整備促進）・進出企業視察会（ダイトロン）・新産業創出研究会

一宮市と連携した企業立地の推進

新たな企業の誘致は、雇用面、税収面も含め、地域産業の活性化にとって重要な課題であり、今後も一宮市を含む関係団体と連携して取り組んで行く必要がある。また、一宮市への進出を検討している企業に向けての情報発信についても、一宮市と協働して行く。

企業立地の推進

具体的事業	2019	2020	2021	所管
行政との情報共有・情報発信 ウェブサイトによる情報発信	調査検討	閲覧数：120	閲覧数：360	産業振興委員会 【企画部】

新たなビジネスの創出支援

経済産業省が提唱する新産業構造ビジョンにあるとおり、IoT、AIなどの革新技术を活用した、新たな製品・サービスの開発、それを進めるためのネットワークづくりに注力する。技術シーズ、研究シーズの情報提供、テーマ別プロジェクトの運営を通じたアウトプットを目指して行く。

新たなビジネスの創出支援

具体的事業	2019	2020	2021	所管
ビジネス研究セミナー 技術シーズ、研究シーズの提供	1回30人	1回30人	1回30人	産業振興委員会 【企画部】
テーマ別プロジェクトチームの運営 分科会運営とビジネスモデルの構築	3チーム	4チーム	5チーム	産業振興委員会 【企画部】

VISION

視点 4 行政との連携・協働による活気と賑わいのあるまちづくりに取り組む

ACTIONPLAN 4

シビックプライドの醸成と賑わいあるまちづくり支援

中心市街地の活性化を地域活性化の核と位置づけ、賑わいの創出と交流人口の増加を通じたまちづくり支援を展開する。少子高齢化、人口減少が進む中、中心市街地の都市機能、経済活力の向上は大きな課題となっている。今後も交流人口の増加を目的とした、集客性の高い事業を企画、展開すると共に、来訪者に対するおもてなしのカギとなる、個店、商品・サービスの魅力向上についても支援していく。

また、魅力あるまちづくりの重要なファクターである、当地の企業、団体、市民へ対してはシビックプライドの醸成を図るため、まちづくり講演会や婚活などの事業を通じて、[※]地域社会との関わり、市民性を育んでいく。



※まち歩きモニターツアー・まちづくり講演会（藻谷氏）・婚活パーティー

※シビックプライド：「郷土愛」といった単に地域に対する愛着を示すだけでなく、権利と義務を持って活動する主体としての市民性という意味があり、自分自身が関わって地域を良くしていこうとする当事者意識に基づく自負心をいう。

賑わいのあるまちづくり支援

少子高齢化、消費生活等の構造変化に対応した、中心市街地における都市機能、経済活力の向上は、地域活性化の最も重要な課題であり、地方公共団体や地域住民等が相互に密接な連携を図りながら、主体的に取り組んで行く必要がある。

中心市街地の活性化

具体的事業	2019	2020	2021	所管
まち歩きツアーの開催 真清田神社を核とする中心市街地の活性化	1回 50人	1回 50人	1回 50人	まちづくり委員会 【相談所】

魅力ある個店・商品・サービスづくり支援

賑わいのあるまちの定義として、人が集い、消費活動が活発な状態が市民生活に利益をもたらすとされている。人が集う魅力的な個店づくり、消費を刺激する魅力的な商品・サービスの開発は賑わい創出の重要な要素であり、それらを積極的に支援して行く必要がある。

魅力ある個店・商品・サービスづくり支援

具体的事業	2019	2020	2021	所管
一店逸品運動 個店の魅力、商品の開発を支援	1回 10社	1回 13社	1回 15社	まちづくり委員会 【相談所】
まちゼミ 個店のファン・顧客の開拓	講座数：60	講座数：70	講座数：80	まちづくり委員会 【相談所】

シビックプライドの醸成

「賑わいのあるまち」とは、そこで暮らす地域住民により創られる。単に地域に対する愛着を示すだけでなく、権利と義務をもって主体的に活動する市民性を育むことは、当地の貴重な人材となり、まちづくりの重要な資源となる。

シビックプライドの醸成

具体的事業	2019	2020	2021	所管
まちづくり講演会の開催 市民との合意形成、マインドの醸成	1回 30社	1回 30社	1回 30社	まちづくり委員会 【相談所】
婚活の開催 交流機会の提供と定住化の勧め	1回 60人	1回 60人	1回 60人	まちづくり委員会 【総務部】

VISION

視点 5 地域資源を活用した事業展開による都市のブランディングを図る

ACTIONPLAN 5

地域資源の活用と観光振興を通じた交流人口の拡大

地方の疲弊化が進む中、都市の活力を維持・向上させ、都市間競争で優位性を得るには地域の特性（地域資源）を活かした事業展開と、それを通じた都市のブランディングが重要である。本所では、一宮モーニングプロジェクトをはじめとした様々な地域資源の活用に取り組んできた。

近年では、それらを含む地域固有の資源を活用した、観光振興事業への取り組みをスタートした。産業観光を含む観光振興事業を通じた交流人口の増加は、将来の活力ある当地の礎となる。



※一宮モーニング・いちのみやだいたいフェスタ大集合（秋まつり）・冬の七夕カーニバル（イルミネーション）

地域資源の活用

一宮モーニングプロジェクト、一宮コスチュームタウン構想事業、一宮だいたいフェスタ大集合、一宮イルミネーションなどの地域観光資源に加え、いちのみや食ブランド事業の販路開拓を含む充実を図ると共に、都市のブランディングについても積極的に取り組んで行く。

【モーニング】加盟店舗数及び博覧会来場者数

赤：来場者／黒：参加店舗

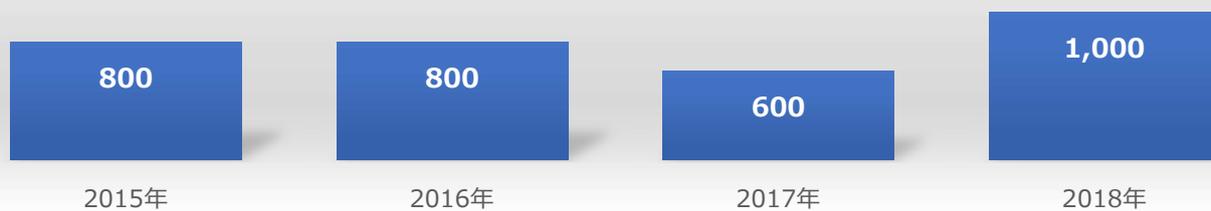


【コスプレ】パレード参加者数

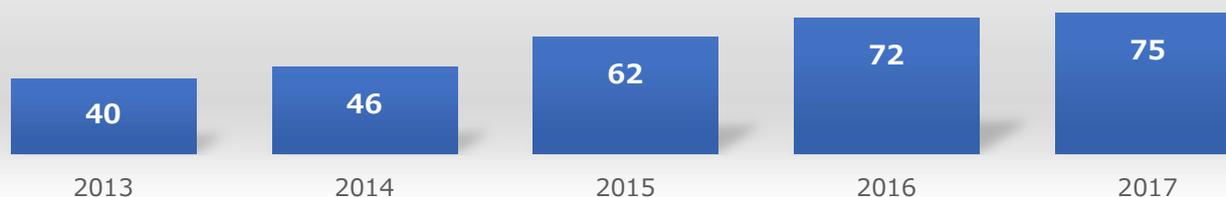


【秋まつり】パレード参加者数

※2013~2014は未実施



【食ブランド】認定数の推移



地域資源の活用

具体的事業	2019	2020	2021	所管
一宮モーニングプロジェクト 参加店募集、マップ製作など	メディア掲載：50件	メディア掲載：55件	メディア掲載：60件	観光委員会 【企画部】
一宮コスチュームタウン構想事業 コスプレパレードなど	パレード：450人 セミナー：150人	パレード：475人 セミナー：160人	パレード：500人 セミナー：160人	観光委員会 【企画部】
いちのみや秋まつり事業 一宮だいたいフェスタ大集合など	お菓子：30,000人 パレード：800人	お菓子：30,000人 パレード：800人	お菓子：30,000人 パレード：800人	観光委員会 【企画部】
一宮イルミネーション事業 冬の中心市街地活性化など	点灯式：300人 イルフェス：25作品	点灯式：350人 イルフェス：30作品	点灯式：400人 イルフェス：30作品	観光委員会 【企画部】
いちのみや食ブランド事業 認定事業・販路開拓	対外フェア・展示会出展 3件	対外フェア・展示会出展 5件	対外フェア・展示会出展 7件	中小企業委員会 【相談所】

観光振興

様々な地域資源、真清田神社などの名所・史跡、当地の地場産業である繊維（尾州）などを効果的なプロモーションにより市内外、国内外に周知して行くことで、観光による交流人口の増加に結びつけていく。行政、市民等と連携した事業展開を図って行く。

観光振興

具体的事業	2019	2020	2021	所管
産業観光プロモーション調査事業 調査事業・ツアー商品の販売など	1ツアー：30人	1ツアー：30人	1ツアー：30人	観光委員会 【企画部】

※全 36 事業（赤字は新規事業：12 事業）